

だいがくにほんご

大学日語

3

徐祖琮
顾明耀 主编

高等教育出版社

高等学校教材

GAODENG XUEXIAO JIAOCAI



(京)112号

内 容 提 要

本书是《大学日语》4级教材(共4册)的第3册。本书在结构上与1、2册基本一致,即全书分为10个单元,每个单元包括课文、生词、语法(作文指导)、听力、会话、阅读、练习等部分。每部分都在前两册的基础上难度有所增加。课文全部选自原文,具有较强的规范性和可读性,语法以句法和篇章法为主,听力、会话、阅读、练习等部分有较强的针对性和实用性。全书达到了“大纲”对第3级提出的各项要求。

责任编辑 祝大鸣

大 学 日 语

(3)

徐祖琼 顾明耀

(主编)

赵乃斌 田忠魁

李玉莲 郭殿福

合编

高等教育出版社出版

高等教育出版社激光照排技术部照排

新华书店总店北京科技发行所发行

天津新华印刷一厂印刷

开本850×1168 1/32 印张13 字数 330 000

1992年6月第1版 1992年6月第1次印刷

印数: 0 001—6 999

ISBN 7-04-003739-4/H·423

定价: 4.25元

前 言

本册教材是《大学日语》的第3册,适用于大学日语的第3级教学。

全书由10个单元构成。每一个单元中设有课文、生词、语法、听力、会话、阅读、练习等项。全书可供70—80学时教学使用。

本册教材中,课文共10篇,总计约21,000字,阅读材料共20篇(每单元2篇),总计约42,000字。

本册教材共出现生词841个,其中有726个是《大学日语教学大纲》(以下简称“大纲”)要求学生在本级掌握的单词,占“大纲”规定掌握单词数量的90%。这些单词分布在各单元的课文、语法、听力、会话、阅读及练习等部分。对其中约450个单词,即“大纲”要求复用式掌握的词汇,有计划地安排了重复。

本册教材的语法前5课以句法为主,介绍简单句的分析、3种复合句(包孕句、主从句、并列句)的分析;后5课以篇章法为主,介绍了句子、语段、篇章法概念、句间关系及语段分析等,为第4册讲授文章结构创造条件。另外,本册还安排了第1、2册教材中没有涉及到的部分词法内容及本册课文中出现的惯用型等。此外还安排了作文指导的有关内容。

本册教材的听力、会话两部分,是根据“大纲”规定3级应掌握的功能意念、语言技能及各单元课文内容安排的。练习是根据课文内容和语法等安排的。通过多种形式的练习,可以使学生较好地掌握“大纲”规定应在第3级掌握的各种语言技能。

本册教材由徐祖琼(复旦大学)、顾明耀(西安交通大学)担任主编,编者有赵乃斌(编写负责人,哈尔滨科技大学)、田忠魁(哈尔滨船舶工程学院)、李玉莲(哈尔滨建筑工程学院)、郭殿福(哈尔滨

科技大学)。

本册教材经大学外语教材编审委员会日语编审组召开会议审定。参加审稿会的有编委周炎辉(主审)、林胜兴,以及高可夫、刁攀奇、王渊喆、李士俊、关西成、计钢、陈俊森、冯建力、姚崇永、田世昌、尹学义、祝大鸣等。承他们提出了许多宝贵意见,对此谨表衷心的感谢。

日本庆应义塾大学斋藤修一教授对本书语法、听力、会话和练习内容作了认真的修改,在哈尔滨工作的日本专家泉原省二先生、松山美彦先生也都对本书某些内容作了修改,在此一并致谢。

由于我们经验不足,水平有限,而且编写这种类型的教材难度很大,加之时间仓促,错误、不当之处在所难免,欢迎老师们、同学们批评指正。

编 者

1991年4月30日

目 录

第一ユニット	1
一、本文	1
水飲み鳥の原理	1
二、新出単語	4
三、文法	6
1. 句子(文・センテンス)	6
2. 句子的类别	7
3. 简单句的分析(一)	9
(1) 分析句子成分(文の成分)的搭配关系	9
4. 构词知识	12
四、ヒヤリング	13
五、会話	15
六、閲読	18
1. コロンブスの卵	18
2. 水の東西	22
七、練習	25
第二ユニット	35
一、本文	35
割られたガラス	35
二、新出単語	39
三、文法	41
1. 简单句的分析(二)	41
(2) 分析陈述方式(陳述の様式)	41
2. 推测助动词う(よう)、まい的连体形用法	45
3. 接续助词たって(だって)、文语助词に、が	45

4. 构词知识	47
四、ヒヤリング	48
五、会話	51
六、閲読	53
1. おふくろの筆法	53
2. なぜ山に登るか	57
七、練習	60
第三ユニット	68
一、本文	68
ローズマリーの旅	68
二、新出単語	71
三、文法	73
1. 包孕句(有属文)的分析	73
2. 构词知识	77
3. 作文指导(一)	78
四、ヒヤリング	80
五、会話	83
六、閲読	86
1. ヒトの手の不思議	86
2. 植物のにおい	90
七、練習	93
第四ユニット	103
一、本文	103
現代社会の花道	103
二、新出単語	107
三、文法	108
1. 主从句(合文)的分析	108
2. 同位语的特点及其在句子中的地位	111
3. 提示助词さえ、すら	112
4. 惯用型	114

5. 构词知识.....	116
四、ヒヤリング.....	117
五、会話.....	119
六、閲読.....	121
1. イメージについて.....	122
2. 読者の創造.....	125
七、練習.....	129
第五ユニット	139
一、本文.....	139
向かい合いの心理.....	139
二、新出単語.....	142
三、文法.....	145
1. 并列句(重 ^{じゅうぶん} 文)的分析.....	145
2. 构词知识.....	147
3. 作文指导(二).....	148
四、ヒヤリング.....	152
五、会話.....	155
六、閲読.....	157
1. ある親しい感覚.....	157
2. 日本人の思考様式.....	160
七、練習.....	164
第六ユニット	174
一、本文.....	174
小説2編(1. 黒い服の男 2. ねらわれた星).....	174
二、新出単語.....	178
三、文法.....	180
1. 多层次复合句.....	180
2. 如何分析多层次复合句.....	183
3. 语段(連 ^{れんぶん} 文).....	184
4. 文章与句子、语段的关系.....	187

5. 篇章法(文章論) ^{ぶんしょうろん}	188
6. 语气助词ぜ.....	189
7. 惯用型.....	189
8. 构词知识.....	190
四、ヒヤリング.....	191
五、会話.....	194
六、閲読.....	197
1. キジの儀式.....	198
2. 小さな橋.....	201
七、練習.....	205
第七ユニット	214
一、本文.....	214
おとぎ話とSFの間.....	214
二、新出単語.....	217
三、文法.....	219
1. 表示句间关系的手段.....	219
2. 惯用型.....	222
3. 作文指导(三).....	223
四、ヒヤリング.....	228
五、会話.....	231
六、閲読.....	234
1. 現代の人間関係.....	234
2. 無言化社会の中で.....	238
七、練習.....	243
第八ユニット	251
一、本文.....	251
10秒の空白.....	251
二、新出単語.....	255
三、文法.....	256
1. 句与句之间的联系.....	257

2. 接续词的分类	260
3. 惯用型	262
4. 作文指导(四)	264
四、ヒヤリング	266
五、会話	269
六、閲読	272
1. 空白な時間	272
2. 親切な表現	276
七、練習	280
第九ユニット	289
一、本文	289
挑戦	289
二、新出単語	293
三、文法	295
1. 语段(連文)的分析	295
2. 作文指导(五)	299
四、ヒヤリング	305
五、会話	309
六、閲読	312
1. 具象以前	312
2. ほんとうの顔	315
七、練習	319
第十ユニット	329
一、本文	329
1. 赤字ローカル線対策	329
2. 交通規制	331
二、新出単語	333
三、文法	334
1. 语段与复合句的关系	334
2. 语段与自然段的关系	336

3. 现代日语中的文语残余.....	337
四、ヒヤリング.....	343
五、会話.....	347
六、閲読.....	350
1. 畳と床.....	350
2. どうも.....	354
七、練習.....	357
第三册总词汇表	367

第一ユニット

本文：水飲み鳥の原理

文法：1. 句子(文・センテンス)

2. 句子的类别

3. 简单句的分析(一)

(1)分析句子成分的搭配关系

4. 构词知识

閲読：1. コロンブスの卵

2. 水の東西

一、本文

水飲み鳥の原理

ちかすみそうしん
近角聡信

世の中で行われている、いろいろなできごと——人が歩く、電車が走る、トラックが物を運搬する、ネオンサインが輝く、部屋を暖めるなど——を見ると、中には、どうくふうしても、一定のエネルギーを供給しなければできないような仕事もある。ビルの屋上に物を運び上げることなどは、物理の教科書に仕事の原理として書いてあるように、エレベーターを使っても、滑車とロープを使っても、いずれにしても、重力に逆らって仕事をしなければならぬので、一定のエネルギーは供給しなければならない。

部屋を暖めるのも、エネルギーの供給なしには不可能である。石炭・石油・ガス・木炭・まきなど、燃料の種類によって値段

も違い、また暖房器具の取り扱いの便利さなども異なるが、部屋を一定の温度に保つために要するカロリー量は、いずれの場合も変わりはない。

ところが、世の中には、このような種類の仕事のほかに、原理的にはエネルギーをほとんど必要としないような種類のできごともある。普通おもちゃを動かすには、ぜんまい・動力(弾み車)・電池などを使うが、中には、自然のわずかなエネルギーを巧みに利用して、エネルギーの供給なしに動くおもちゃがある。

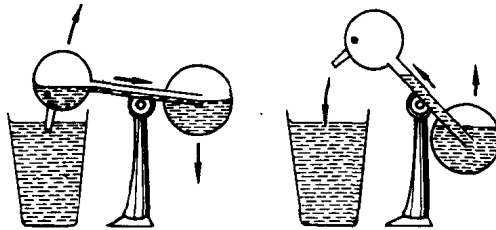
図は、きつつきのおもちゃである。これは、鉛直に立った金属の棒に緩くはまった木の球に、つる巻きばねで、木製のきつつきが取り付けてある。きつつきが振動していないと、木球は片持ちで棒に引っかかっているので、摩擦で止まったままだいる。きつつきを少し上下に振動させると、その反作用で木球の傾きが変わり、摩擦が少なくなるので、少しずつ落ちる。その落下運動がまたきつつきの振動を誘起するので、きつつきは、ますます盛んに、カチカチと金属棒をたたきながら降りてくる、というわけである。上から下まで50センチぐらいの高さを降りるのに30秒ぐらいかかるが、その動作になかなかあいきょうがあって、楽しめる。これなどは、きつつきが50センチの高さを降りる間に、重力が提供するエネルギーを利用しているのであるが、計算してみると、その仕事率は、ほんの数ミリワットにしかない。

おもちゃばかりでなく、はと時計などはやはり、おもりを巻き上げ、重力のエネルギーを利用して針を進ませる仕掛けになっている。これなどは百分の一ミリワット程度の割合でしかエネルギーを消費しない。砂時計なども、典型的な重力利用の機器と言えよう。

水が蒸発するときのわずかなエネルギーを動力に利用したおもちゃがある。見掛けは、鳥がコップの水を飲んでいるような動作を続けるわけであるが、実は、図のように、内部は巧みなガラ

ス細工になっていて、内部の空気を抜いてエーテルを入れてある。ときどき頭を水に突っ込むので、上部はぬれている。その水が蒸発して熱を奪うと、内部のエーテルの蒸気が凝結するので、上部の球の内部の圧力が減り、管を通してエーテル液を吸い上げる。そして液が上部の球の中に入ると、重心が上方に移動し、頭を下げて水の中に突っ込む。そうすると、下の球の中の管の下端がエーテル液面から顔を出すので、上部のエーテル液は、管を通して下の球に戻ってしまう。すると、再び重心は下方に移動するので、鳥は頭をもたげることになる。振起

鳥が頭をもたげたあとは、その反動で振動を続けるが、この振動も、仕掛けなしには、それほど持続することはできない。振動中に、エーテル液の上昇のぐあいをよく観察すると、鳥の前後振動に合わせて、ぐっぐと液面が上がっていくことが分かる。これはブランコをこぐ要領と同じで、鳥の前後振動に、エネルギーを与えているのである。



このおもちゃを見ていると、鳥が忙しく水を飲んでいるように見えるが、実はこの運動に関係している仕事率は、百分の一ミリワット程度にすぎない。しかも、そのエネルギーは、人為的に補給してやる必要はないというところがなかなかおもしろい。もし、このおもちゃを密閉したガラス箱の中に閉じ込めておくと、箱の中はだんだんに湿度が高くなって。ついに、鳥の頭から水が蒸発しなくなり、鳥は動作を止めてしまうだろう。ガラス箱

を開けると、水分は外へ逃げて、鳥は再び動作を始める。しかし、極端なことを言うと、もし、家を気密にして閉め切っておけば、家じゅうの湿度が高くなって、ついに、鳥は動作を止めるかもしれない。家の戸を開けると、水分は外へ逃げて……、と同じ論理を繰り返すと、地球上の湿度が上昇してしまうと、鳥は止まらなければならないことになる。しかし事實は、地球には太陽の光が注がれて、大気中に対流を巻き起こしており、水分を絶え間なく運び去ってくれるから、鳥は永久に動き続けるだろう。

このように考えると、この鳥は、太陽からのエネルギーを巧みに利用して動作をしているとも言える。実際には、家の中ですでに人が動いていたり、火をたいたりしているのだから、それだけでも、鳥の頭からの水分を運び去るのにじゅうぶんである。とすると、この鳥は、人の生活の中からエネルギーを取り出して動いているとも言える。いずれにせよ、このおもちゃは、自然のエネルギーを巧みに利用しているという点で、古今東西を通じて、おもちゃの最高傑作と言ってよいだろう。

(学校図書「中学校国語二」による)

二、新出単語

- | | | |
|----------------|--------|-----------|
| 1. 原理(げんり) | [名] | 原理, 原則 |
| 2. トラック | [名] | 卡车, 载重汽车 |
| 3. 供給(きょうきゅう) | [名・他サ] | 供给, 供应 |
| 供給なし(きょうきゅうなし) | [词组] | 不供应 |
| 4. 屋上(おくじょう) | [名] | 屋顶, 平台 |
| 5. 暖房(だんぼう) | [名・他サ] | 暖气, 室内取暖设 |

		备
	暖房器具(だんぼうきぐ)	
	[名]	暖气设备
6.	電池(でんち) [名]	电池
7.	球(きゅう) [名]	球;球形,球体
8.	つる [名]	蔓;线索
9.	ばね [名]	弹簧,发条
	つる巻きばね(つるまきばね)	
	[名]	螺旋弹簧,卷簧
10.	取り付ける(とりつける)	
	[他下一]	安装
11.	反(はん) [名]	反对,反抗
	反作用(はんさよう) [名]	反作用
12.	動作(どうさ) [名]	动作
13.	ワット [量]	瓦,瓦特
14.	蒸発(じょうはつ) [名・自サ]	蒸发,汽化
15.	内部(ないぶ) [名]	内部
16.	管(くだ) [名]	管
17.	上昇(じょうしょう) [名・自サ]	上升,提高
18.	こぐ [他五]	荡(秋千),划(船)
19.	要領(ようりょう) [名]	要领;诀窍
20.	永久(えいきゅう) [名・形动]	永久
21.	たく [他五]	生(火),烧
22.	傑作(けっさく) [名]	杰作
	おもり [名]	重锤
	ロープ [名]	绳,索,缆,钢缆
	カロリー [量]	卡
	ぜんまい [名]	发条,弹簧

片持ち(かたもち)	[名]	单面支撑
エーテル	[名]	乙醚, 醚
あいきょう	[名]	可爱, 动人; 和蔼, 好感
ブランコ	[名]	秋千
23. 怖がる(こわがる)	[自五]	害怕
24. 動物園(どうぶつえん)	[名]	动物园
25. 各国(かっこく)	[名]	各国
26. 飼う(かう)	[他五]	饲养
27. 巡查(じゅんさ)	[名]	警察
28. のろい	[形]	缓慢的, 迟缓的
29. 無線(むせん)	[名]	无线电
30. 大ざっぱ(おおざっぱ)	[形动]	粗略
31. 着せる(きせる)	[他下一]	使……穿, 使…… 着上

☆1. 句子(文・センテンス)☆

人们用语言来彼此交流或表达思想感情时,总是用词和由词组成的句子来进行。句子是句法研究的主要对象。句子的主要特点是:

(1)从意义上来说,句子表示一个独立完整的意思或思想感情。

(2)从组成上来说,句子是由若干单词按照一定的语法规则构成句素(或扩展的句素),然后相互结合而成的。虽然有时一个单词

也能构成独词句,但那必须有特定的语言条件,不然就不能起句子作用。

(3)从形式上来说,句子要有一定的语音标志(指语调和停顿)。在口头语言中,一句话说完,有一个较大的停顿。在书面语言中,句末一定要用句号“。”,有时也用问号“?”或感叹号“!”表示结句。例如:

長い文章は、複数の段落から成る。

「一緒に行かない?」、「映画?」

困難は怖くない。怖いのは君がそれを怖がることだよ。

わたしの好きな秋!

上面的每个例句都表达了一个完整的意思或思想感情。句号、问号、感叹号是结束句子的书面标志。在日语里句号“。”最常用,问号“?”和感叹号“!”可以不用,因为句末语气助词“か”或“よ”等已经表达了疑问和感叹的语气。

☆2. 句子的类别☆

对于日语句子,可以从不同角度进行分类,例如:

(1) 根据谓语构成分类:

① 判断句(断定文),或称断定句,体言谓语句,是判断主语“是什么”的句子,谓语由体言加断定助动词构成。例如:

彼は代表だ。

② 描写句(描写文),或称静态句、形容词谓语句,是描写主语“怎么样”的句子,谓语由形容词、形容动词构成。例如:

桜の花は美しい。

海が静かだ。

③ 叙述句(叙述文),或称动态句、动词谓语句,是叙述主语“干什么”的句子,谓语由动词构成。例如:

人が走る。